

 <b>JWRC</b> <b>水道ホットニュース</b>	<p>(財)水道技術研究センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail <a href="mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp">jwrchot@jwrc-net.or.jp</a> URL <a href="http://www.jwrc-net.or.jp">http://www.jwrc-net.or.jp</a></p>
---	---

## “TECHNEAU” について (その1)

(はじめに)

今回の水道ホットニュースで紹介する「TECHNEAU (Technology Enabled Universal Access to Safe Water)」は、EC (欧州委員会) のホームページによれば、次のように紹介されています。

「TECHNEAU」は、安全な飲料水のための刷新的で費用効果の高い戦略及び技術を開発することを求める EU (欧州連合) 第6次枠組みプログラム のもとのプロジェクトであり、EU の3つの主要目標に対応したものである。目標の第一は、如何なる分野においても欧州がリーダーとしての位置を占める最新の技術を開発するという「競争性 (リスボン指針の一部)」である。第二は、2015年までに安全な飲料水を確保できない人口の割合を半減することを求める国連ミレニアム目標に対するEU のコミットメントへの対応である。目標の第三は、欧州における公衆の健康を改善することであり、より安全でより信頼できる水の供給はこの目的を達成するための確実な方途である。

「TECHNEAU」プロジェクトは、広くEU諸国の30の研究機関から約100名の研究者が集まっており、さらに遠く離れたオランダKiwa Water Researchの「Theo van Hoven」博士がコーディネーターとなっている。2006年1月に発足し、5年の期間、そして、プロジェクト予算は合計19百万ユーロであり、そのうち13.2百万ユーロはEUにより拠出される。」

(出典) EC ホームページ

[http://ec.europa.eu/research/environment/newsanddoc/article\\_4042\\_en.htm](http://ec.europa.eu/research/environment/newsanddoc/article_4042_en.htm)

(参考) EU 第6次枠組みプログラム

<http://cordis.europa.eu/fp6/dc/index.cfm?fuseaction=UserSite.FP6HomePage>

一方、「TECHNEAU」プロジェクトのコーディネーターである「Theo van den Hoven」博士は、本プロジェクトのニュースレター第1号(2006年8月)において、次のようなメッセージを寄せています。

『TECHNEAU プロジェクトについて紹介させていただきたい。TECHNEAU は、主にEU (欧州連合) からの資金提供による統合プロジェクト (予算総額19百万ユーロ、1ユーロ=135円として2,565百万円) であり、世界中で水道セクターが直面している多くの課題に対処するものである。新たな汚染物質、偶然又は故意の汚染に対して脆弱な老朽インフラ、良質で処理が容易な資源の不足、その数例である。

「統合 (Integration)」は、課題に首尾よく対処するための秘訣である。科学的進展及び技術的発展の社会経済及び水道事業者の日々の実践への統合、すなわち、分割・分離された解決法ではなく水

源から蛇口までの統合、欧州から開発途上国までを通じた大学・研究機関・技術プロバイダー・規制機関及び水道事業者による努力の統合及び集中、これが、TECHNEAU の目的である。

TECHNEAU チームは、この野心的なプロジェクトにおいて、欧州委員会研究総局と提携することを誇りに思う。統合的アプローチの利点は、2006年1月の発足以来最初の半年間で明白になってきている。』

このように、欧州では、大学、研究機関等が一体となって水道に関する課題に取り組んでおり、日本にとっても大いに参考となるものであると考えられるので、以下に「TECHNEAU」の概要を紹介することとします。

なお、翻訳は仮訳であり、詳細は出典（原文）を参照していただくようお願いします。

（参考1）TECHNEAU ホームページ <http://www.techneau.org/>

（参考2）ニュースレター一覧 <http://www.techneau.org/index.php?id=86>

## 1. 「TECHNEAU」プロジェクトの概要

TECHNEAU プロジェクトは、以下に示すとおり、8つの研究領域（Work Area）で構成されている。

- [研究領域1] システムの再考（Rethink the System）
- [研究領域2] 浄水技術（Treatment Technology）
- [研究領域3] 監視制御技術（Monitoring And Control Technologies）
- [研究領域4] リスク評価・リスク管理（Risk Assessment And Risk Management）
- [研究領域5] 維持管理（Operation And Maintenance）
- [研究領域6] 消費者の受諾と信頼（Consumer Acceptance And Trust）
- [研究領域7] 統合、認証及び実証（Integrate, Validate and Demonstrate）
- [研究領域8] 普及及びトレーニング（Dissemination And Training）

## 2. 「TECHNEAU」プロジェクトのパートナー

TECHNEAU プロジェクトの目的達成のために参加しているパートナーは、次のとおりである。

[大学]

- ・ Riga 工科大学（ラトビア）
- ・ NTNU（ノルウェー科学技術大学）（ノルウェー）
- ・ UNESCO-IHE（ユネスコ水教育研究所）（オランダ）
- ・ Surrey 大学（英国）
- ・ アーヘン工科大学（ドイツ）
- ・ Chalmers 工科大学（スウェーデン）
- ・ デルフト工科大学（オランダ）
- ・ ベルリン自由大学（ドイツ）
- ・ インド工科大学デリー校（インド）

[研究・技術機関]

- ・ Kiwa Water Research (オランダ)
- ・ SINTEF (ノルウェー産業科学技術研究所) (ノルウェー)
- ・ KWB (ドイツ)
- ・ EAWAG (スイス連邦水科学技術研究所) (スイス)
- ・ DVGW-TZW (ドイツガス水道協会・水技術センター) (ドイツ)
- ・ WRc (水研究センター) (英国)
- ・ LNEC (国立土木工学研究所) (ポルトガル)
- ・ 水研究委員会 (南アフリカ)
- ・ Anjou Recherche Veolia (VeoliaWater の研究開発部門) (フランス)
- ・ ベルリン生産研究所 (ドイツ)
- ・ Mekorot (国営水道会社) (イスラエル)
- ・ Swartz 水利用エンジニアーズ (南アフリカ)
- ・ 国立公衆衛生研究所 (チェコ共和国)

(文責) センター常務理事兼技監 安藤 茂

---

**配信先変更のご連絡等について**

「JWR C水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

**水道ホットニュースのバックナンバーについて**

水道ホットニュースのバックナンバー (第58号以降) は、下記アドレスでご覧になれます。

<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h21.html>